

## 品質管理

## 開水路の床版コンクリート施工方法変更について

宮崎県土木施工管理技士会

湯川建設株式会社

現場代理人

黒田 竜 則

## 1. 適用工種

開排水路の床版コンクリート

## 2. 改善提案

図-1、写真-1のように既設開水路に現場打ち床版コンクリートを打設し、その上に歩道を設置する。この現場打ち床版コンクリートをプレキャストコンクリート床版の製品に変更する。

## 3. 設計工法の問題点

現場打ち床版コンクリートの養生期間が長く、工期内完成が困難である。

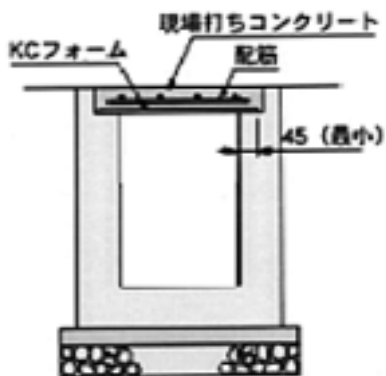


図-1 設計の施工方法 KC フォーム工法



写真-1 設計の施工方法（参考写真）

## 4. 工夫・改善点

現場打ち床版コンクリートをプレキャストコンクリート床版に変更し施工を行った。

図-2、図-3のようにプレキャストコンクリートスラブを設置する。

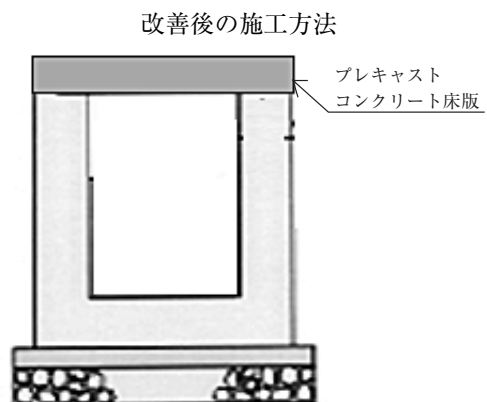


図-2 内空断面 (W=1,000 H=800)

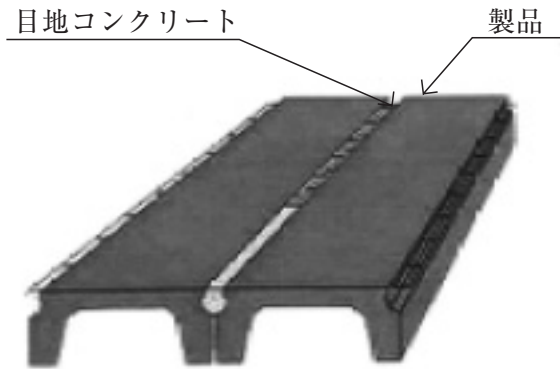


図-3 プレキャストコンクリート床版

## 5. 効果

工事は交通規制の関係により4工区に工区割りし、1工区毎に仕上げを行い次工区に進む工程であった為、プレキャストコンクリート床版を使用することにより大幅な工期短縮が図り工期内に工事を完成させることができた。

## 6. 適用条件

プレキャストコンクリート床版の施工はクレーン作業を伴う為に、現場打ちコンクリート床版施工に比べて作業スペースが広く必要になる。

## 7. 採用時の留意点

今回の現場の線形にはカーブが入っていたが、製品間の目地計算を行い施工をおこなった。

急なカーブの入った施工箇所については、複数のプレキャストコンクリート床版の製品寸法が発生するため、製品製作に期間を要することもあり、現場施工と、製品の製作日数の検討を十分行う必要がある。